

農山漁村地域整備交付金整備計画における事後評価

【計画の概要】

計画の名称	宮城県林道整備計画
計画策定主体	宮城県
対象市町村	仙台市, 石巻市, 気仙沼市, 登米市, 栗原市, 丸森町, 大和町, 女川町
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
計画の目標	<p>県土の57%を占める森林は、県土保全機能や木材生産機能をはじめ、県民が安全で安心できる生活や文化を営む上で欠かせない多面的な機能を有している。</p> <p>特に人工林を主体とした森林資源の充実を背景に県産材の供給力が着実に増加する中で、森林の適切な維持管理と、高性能林業機械の導入に対応した合理的な林業経営の推進を図るための林内道路路網の整備が重要な課題となっている。</p> <p>そこで、当該計画に沿って、林道の開設・改良・舗装等の整備を進めることにより、森林の有する多面的機能の高度発揮を確保するとともに、高性能林業機械と路網の組み合わせによる生産性の高い作業システムの構築により、林業収益性の向上を図る。</p>
定量的指標	森林の有する多面的機能の高度発揮、路網整備による林業収益性の向上を図るため、11路線において延長L=12,080mの開設・改良を図るなど林道網の整備を図る。

【評価】

交付対象事業の進捗状況	森林整備の基幹となる林道の開設8路線, 改良3路線を整備した。
事業効果の発現状況	林道の開設により、林内路網の整備が推進され、また改良により走行性能が高まり利便性が向上した。
成果目標値の現状	<p>林道開設 目標値 10,577m 実績値 9,546m 達成率 90%</p> <p>林道改良 目標値 1,503m 実績値 2,927m 達成率 195%</p> <p>合計 目標値 12,080m 実績値 12,473m 達成率 103%</p>
今後の方針	路網整備を進め間伐等の森林整備を推進するほか、林道は緊急時の避難路としての役割も果たす事から継続して開設, 改良を実施し整備していく。